

令和6年度 エンテロウイルスレファレンスセンター会議議事録

日時:2024年5月21日(火)

場所:Zoom開催

参加者:

エンテロウイルスレファレンスセンターブロック代表者(順不同 敬称略)

北川 和寛 福島県衛生研究所(北海道東北新潟)

佐野 貴子 神奈川県衛生研究所(関東甲信静)

廣瀬 絵美 愛知県衛生研究所(東海北陸)

中田 恵子 大阪健康安全基盤研究所(近畿)

河瀬 曜 愛媛県衛生環境研究所(中国四国)

古谷 貴志 福岡県保健環境研究所(九州)

国立感染症研究所ウイルス第二部

有田 峰太郎

西村 順裕

喜多村 晃一

会議の概要

議題1: ポリオウイルス取扱い管理状況について

総括1: 有田から、世界のポリオ流行状況、国内外のポリオ管理状況について概要説明があった。

議題2: パレコウイルスの標準品等の共有について

総括2: エンテロウイルスレファレンスセンターにおいてパレコウイルスのレファレンス活動(各ブロック内でのマニュアル問い合わせ対応、標準品の共有)を行うことを確認した。

議題3: 病原体検査マニュアル作成の進め方について

総括3: エンテロウイルスに関連するマニュアル(手足口病・ヘルパンギーナ・無菌性髄膜炎)の改訂について、エンテロレファレンスセンターを介してブロック内の意見(新規に開発・評価された検査技術に関するもの)が滞りなく反映されるべきである。

議題4: エンテロウイルス検出法開発の進め方について

総括4: エンテロウイルス検出方法の開発について、国内の研究体制に関する意向を確認した。

議題5: エンテロウイルス流行状況の情報共有

総括5: コクサッキーウイルスCVA6の培養細胞による分離がされにくい傾向にあることが複数のブロックで確認された。最近のウイルス株の性状に基づく傾向なのか、今後注視が必要である。